



社会福祉法人 龍鳳

令和5年度 事業報告書

2023年4月～2024年3月

ライフパートナーこぶし (指定障害者支援施設)



東京都東久留米市氷川台 2-31-19

- ・生活介護事業
- ・施設入所支援事業
- ・短期入所事業
- ・就労継続支援B型事業
- ・特定相談支援事業

たんぽぽ (障害福祉サービス事業)



東京都練馬区練馬 2-14-9

- ・就労継続支援B型事業
- ・生活介護事業

令和5年度 事業活動の概況

理事長 貝沼 寿夫

1. サービス活動状況について

- ① R5.5月新型コロナウイルス感染症が5類へ移行された後も、ライフパートナーこぶしではそれまでと変わらず週1回のPCR検査・抗原検査など感染対策を講じました。しかし、10月から11月にかけて延べ31名のクラスターが発生しました。その後収束したものの抜本的な対策を講じる必要があります。
- ② たんぽぽでは、自主製品販売の販路を大幅に拡大しました。その結果平均工賃額が前年の12,265円から21,046円の大幅な増額となり、次年度の基本単価もアップさせる結果となりました。
- ③ ライフパートナーこぶしにおいて11月にクラスター中の利用者対応に関して、12月に予防接種時の身体拘束について、2回行政へ虐待通報がなされました。11月の事案については虐待と認定されず、12月の事案については虐待と認定されました。要因として対応方法や職員の知識技術や認識不足の課題は認識しており、行政へ提出した改善報告に基づき、法人各事業所で研修の実施や支援方法等の見直しを行いました。今回の結果を真摯に受け止め虐待防止のみならず、利用者の権利擁護に努めてまいります。
- ④ 人材採用については、看護師や自主製品担当職員、運転手など必要な人員を中心に行いました。年度中9名採用（正規3名）6名退職（正規2名）合計3名の増員となりました。男性支援員や夜勤可能な女性職員なども増員予定でしたが、採用には至りませんでした。

2. 財務状況について

- ① サービス活動収益406,202千円（前年比102.6%）、サービス活動費用379,061千円（前年比99.6%）、活動増減差額33,111千円（前年比163.5%）となり、法人全体としては順調な決算数字となりました。
- ② 活動収益では、ライフパートナーこぶしの就労継続支援B型利用者増や新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い短期入所の利用率の改善、看護師2名配置によるサービス推進費増額などが法人全体収益を牽引する形となりました。
活動費用では、水光熱費特に電気代高騰を予測しておりましたが、5月より電力会社変更を行った結果、電気代は前年比74.4%に抑え込むことが出来、水光熱費全体についても、前年比84.3%となり約2,000千円節約することが出来ました。
- ③ 12月より大和証券の資産運用口座を開設し、50,000千円の運用を開始しました。その関係で資金収支差額は、-2,018千円となりましたが、実質48,000千円の差額となります。また年度末で評価額差額2,411千円を投資有価証券評価益として計上しています。
- ④ 年度末の財政状況は、総資産1,356,840千円・負債40,696千円・純資産1,316,143千円となり、昨年より純資産は28,375千円増加しました。なお社会福祉充実残高は274,490千円となり、前年より42,490千円増加しました。